



【戦評シート】

平成23年8月9日(火)	協会名： 秋田県 バスケットボール協会	
場 所： 琴丘総合体育館 (Aコート)	記入者： 相場堅祐 山崎淳一	
チームA 東北学院 (宮城2位)	11-10 13-13 16-16 10-23	チームB 一関 (岩手1位)

スターター	チームA： #4, #5, #7, #10, #14	チームB： #4, #7, #8, #10, #15
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()	チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()

第1ピリオド、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。開始早々、一関#8 木村がフリースローを1本決めると、#15 沼倉がリバウンドからゴール下のシュートを決め、3点を先制する。それに対して東北学院は、#7 岩淵や#5 勅使川原のドライブなどで得点を重ね、リードする。一関#8 木村のバスケットカウントで9-10と逆転すると、残り時間1分10秒、東北学院がタイムアウトを取る。その後、東北学院#5 勅使川原がリバウンドからゴール下シュートを決め、10-11 東北学院リードで第1ピリオドを終える。

第2ピリオドに入ると、一関は#7 古澤の3ポイントシュートや#4 岩淵のジャンプシュートで得点を重ねる。一方、東北学院は#7 岩淵のドライブや#4 高橋のリバウンドからのシュートなどで得点し、一進一退の攻防が続く。残り時間2分41秒、東北学院が5回目のチームファウルをするものの、#12 布田の3ポイントなどで得点する。お互い譲らず、23-24 東北学院リードで前半を終える。

第3ピリオド、東北学院が#4 高橋のリバウンドからのシュートや#10 庄司のジャンプシュートで得点する。一関は#7 古澤のドライブや速攻などで対抗する。しかし、両チームの激しいマンツーマンディフェンスが続き、両チームともなかなか得点が伸びない。残り時間3分をきり、一関#15 沼倉がリバウンドからシュートを決めると、両チームともシュートが決まり始め、得点の取り合いとなり、40-39 東北学院リードで第3ピリオドを終える。

第4ピリオド早々、一関#4 岩淵がフリースローを2本決め41-40と逆転する。その後も東北学院のファウルが重なり、残り時間6分06秒、チームファウルが4回になったところでタイムアウトを取る。しかし、一関の勢いが止まらず、#15 沼倉のインサイドシュートや#13 八重柏のドライブなどで得点を重ねる。一方、東北学院はディフェンスをオールコートプレスに変えて、流れを取り戻そうすることができない。逆に、一関#13 八重柏がスティールから速攻を決めるなど点差を広げ、62-50で一関が接戦をものにした。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。